オペ室用吸引器

YOX TYPE S-702 DISPO-OPE

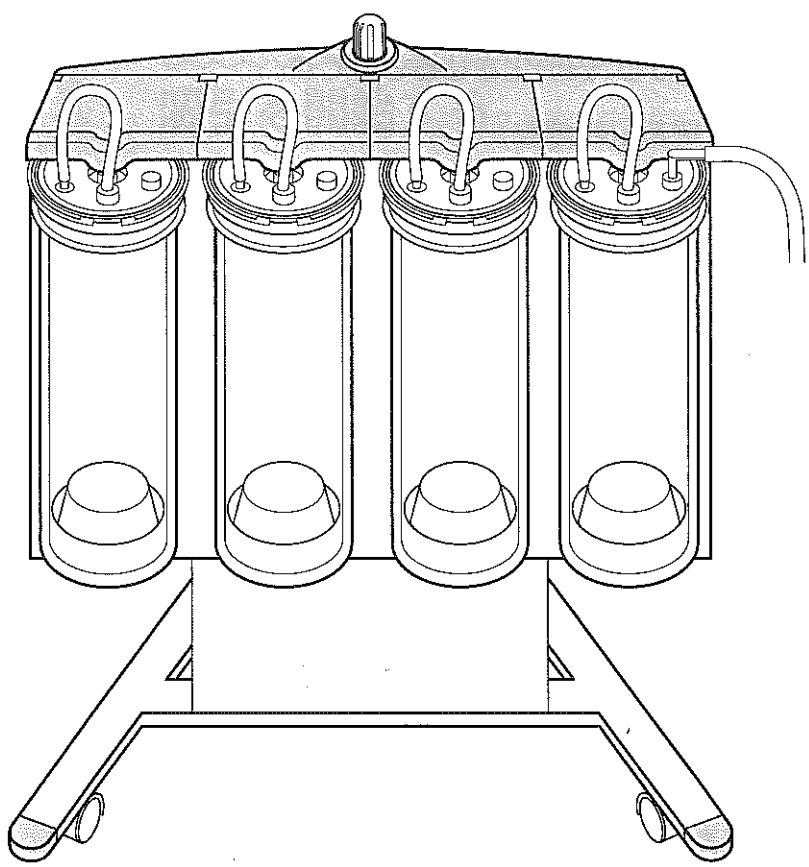
〈ヨックス ディスポ オペ S702〉

届出番号 10B2X00014C00006

取扱説明書

⚠警告

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、内容を十分理解された上でご使用ください。



発売元

KOIKE MEDICAL

はじめに

このたびは《ヨックスディスポ オペS702》をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書は、当製品を安全に正しくご使用していただくためのガイドブックです。

当製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管しておいてください。

当製品は、医療ガス配管設備の吸引圧力を利用する医療用吸引器です。

外科手術や治療などによって生じる血液、たん、生理食塩水などの排液を吸引作用により、吸い取りライナーに貯留しながら、固形化させるものです。

- 本書に従わない取り扱い・操作および整備等を行った場合は、重大な事故につながることがあります。
- 本書の説明が完全に理解されるまでは、当製品を使用しないでください。
- 常に本書を手元に保管し、当製品を扱う方は必ず読み、正しくお使いください。
- 本書を紛失または損傷した場合は、速やかに当社または、お近くの販売サービス店までご連絡ください。

もくじ

ページ

構成品　仕様 …… 4

⚠ ご注意ください …… 5

各部のなまえ …… 6-7

吸引の準備 …… 8-9

- ●その1:キャニスターボトルのセット
- ●その2:ライナーのセット
- ●その3:ライナー間の連結（接続）

連結のいろいろ …… 10

吸引を確認する …… 11

吸引を開始する（自動停止装置） …… 12

吸引を停止する …… 13

ライナーの廃棄手順 …… 14

ライナーの廃棄処理 …… 15

お手入れのしかた …… 16

- ●キャニスターボトルとパッキン
- ●コントローラー
- ●本体とキャニスターヘッド
- ●シールとジョイント

消毒について …… 17

日ごろの点検〈点検表〉 …… 18-20

- ●日常と定期、その箇所

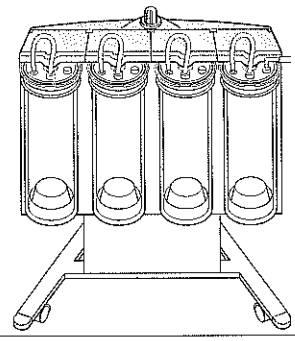
故障かしら？（ちょっと調べてください） …… 21

消耗部品と注文方法 …… 22

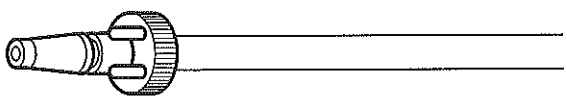
構成品

当製品の構成品は表の通りです。
ご使用前によくお確かめください

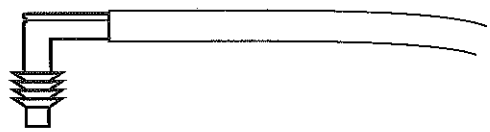
●キャニスターセット
（キャニスタースタンド、ボトル付）



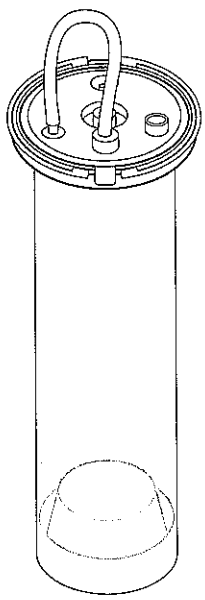
●アダプターホース



●ペイシェントホース



●ライナー（別売）



●取扱説明書

仕様

■本体（キャニスターセット）

項　目	内　容
一般的名称	真空吸引器
販 売 名	ヨックスディスポオペ S702
届出番号	10B2X00014C00006
入口圧力	−53.3〜−66.7KPa
セット内容	・コントローラー ・ペイシェントホース ・キャニスタースタンド ・キャニスターボトル
アダプター形式	ピンインデックス（標準仕様）
セット重量	10kg（4連）／7kg（2連）

●一般医療機器　●特定保守管理医療機器

■先入れライナー（別売）

項　目	内　容
一般的名称	吸引器キャニスタ
販 売 名	ヨックスディスポオペ用 先入れライナー
届出番号	10B2X00014A00001

●一般医療機器　●単回使用（再使用禁止）

■後入れライナー（別売）

項　目	内　容
一般的名称	吸引器キャニスタ
販 売 名	ヨックスディスポオペ用 後入れライナー
届出番号	10B2X00014A00002

●一般医療機器　●単回使用（再使用禁止）

⚠ご注意ください

安全にご使用していただくために、ぜひお守りください。

お使いになる人や、他の人への危害、および財産への損害を未然に防止するため、必ず守っていただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して過った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

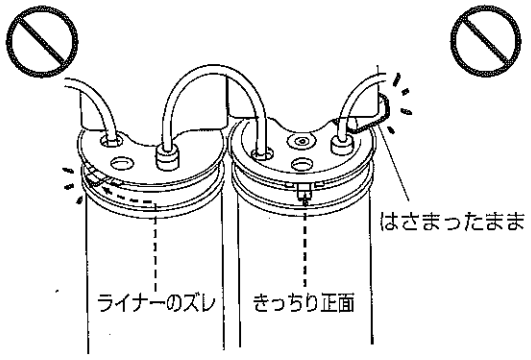
⚠ 警告	「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

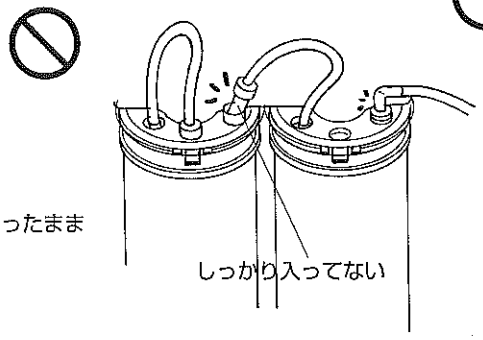
⃠	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず指示に従って実行していただく内容です。

⚠注意：使用の事故を防ぐために、次の点に注意し、また守ってください。

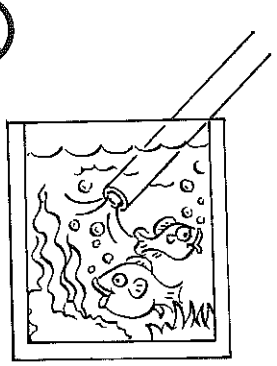
●ライナーがズレたままや、曲がったままにしない



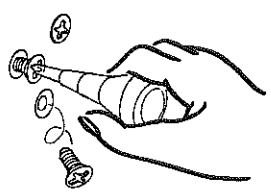
●ライナー間の接続がよくできていない



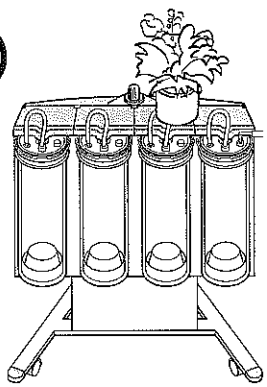
●他の目的に使用しない



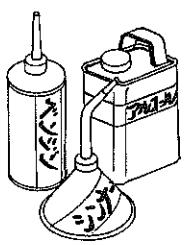
●修理は自分でしない



●ユニットの上に乗ったり物を乗せたりしない



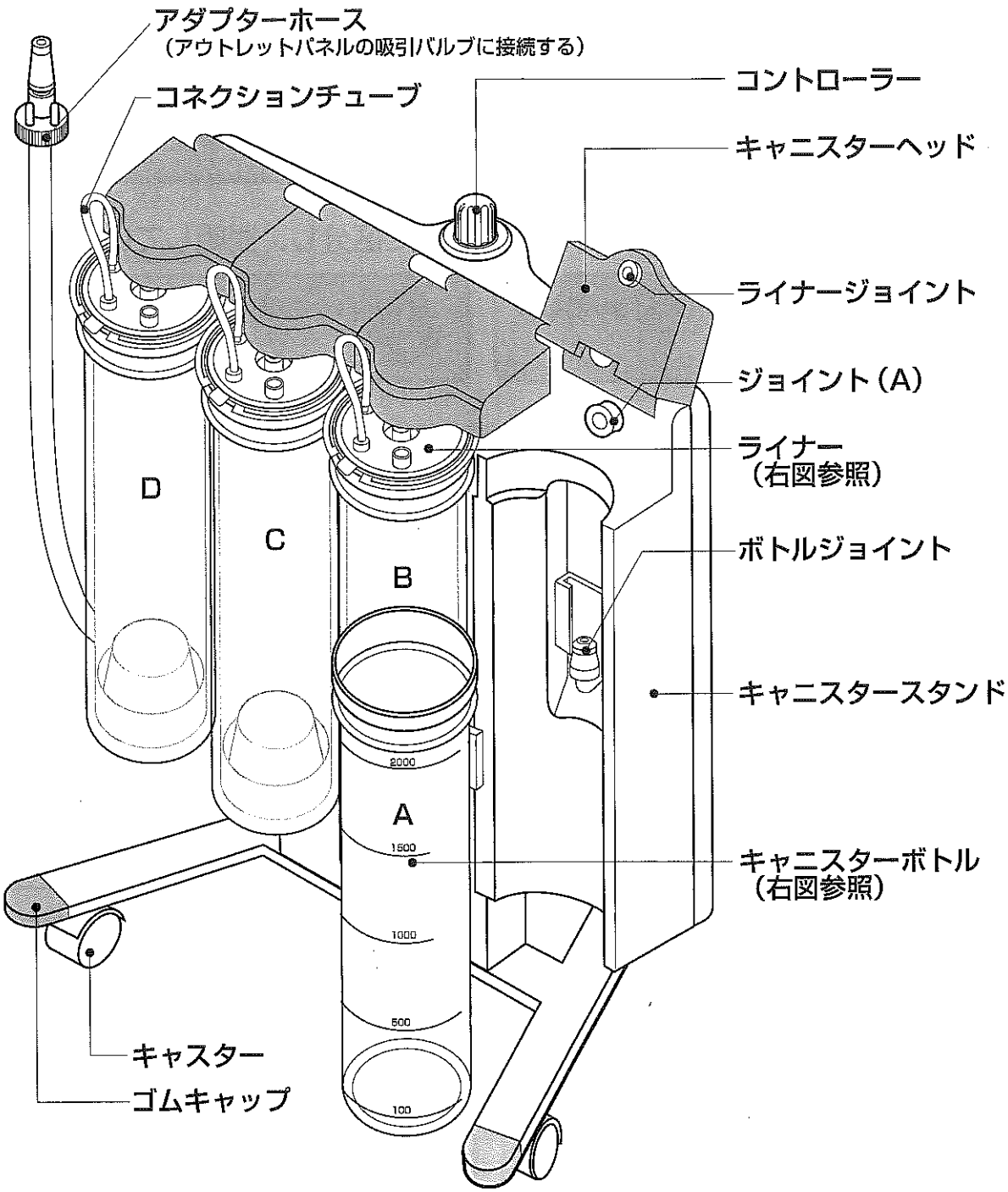
●きめられた以外の洗剤、消毒剤は使用しない



各部のなまえ

本体キャニスターセット、キャニスターボトル、ライナー

本　体

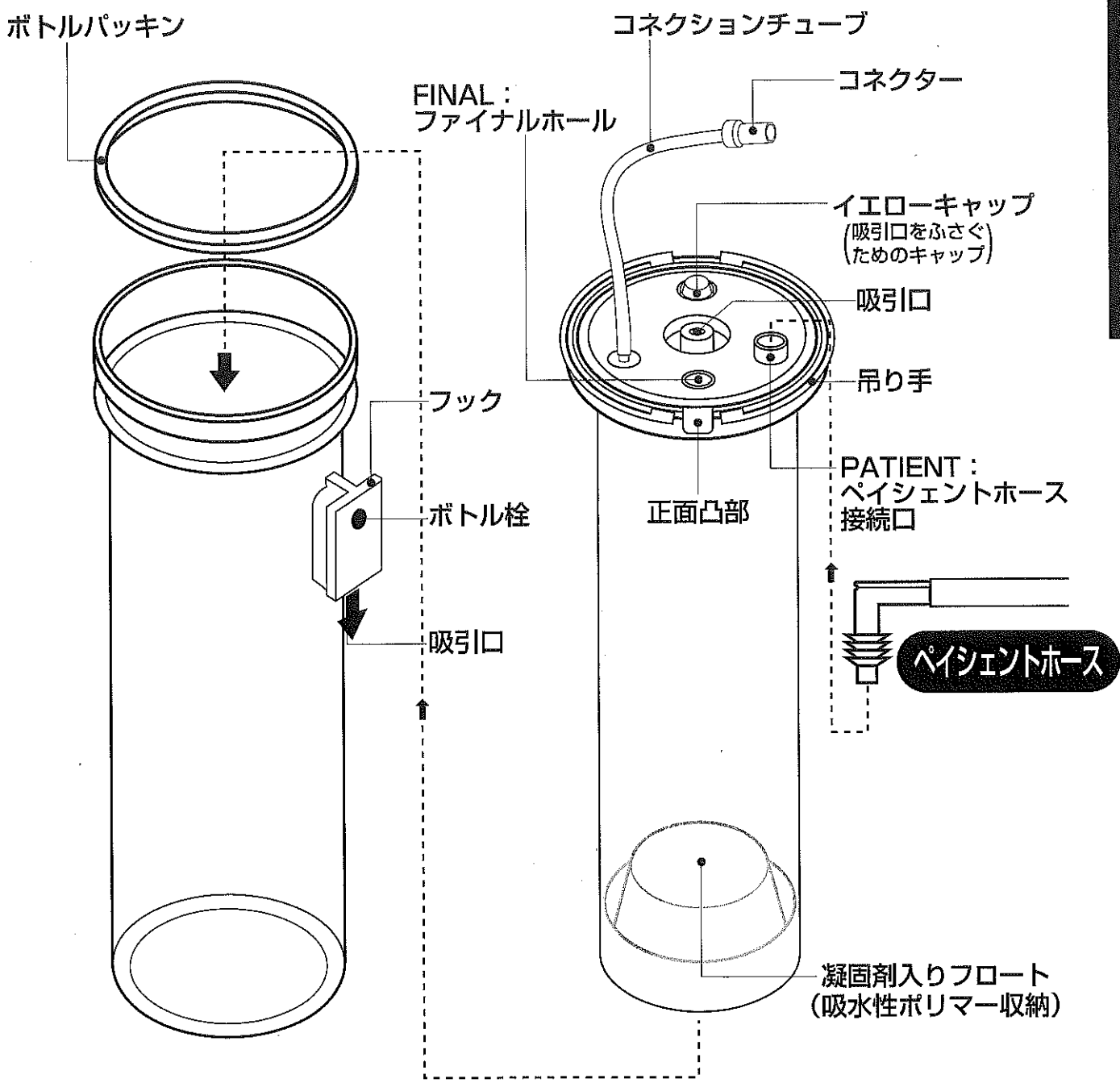


キャニスターボトル

（ライナーをセット収納するためのボトル）

ライナー

（排液貯留器）

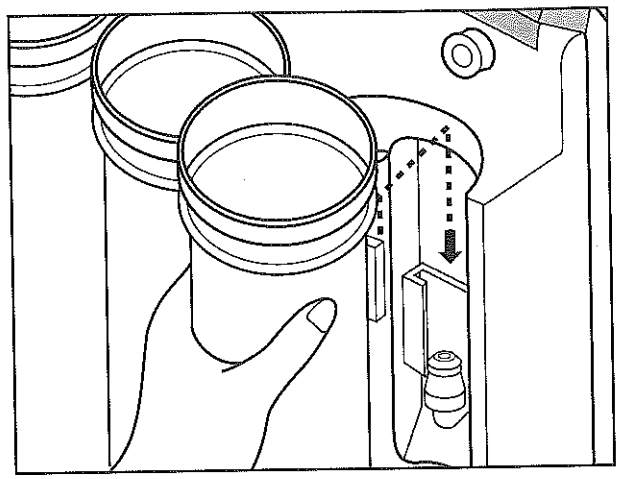


吸引の準備

キャニスターボトルとライナーをセットする

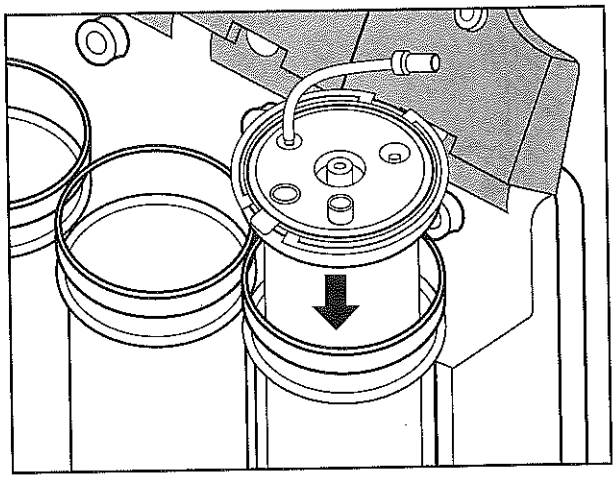
①キャニスターヘッドを開いてキャニスターボトルを本体のフックに差し込んでください。

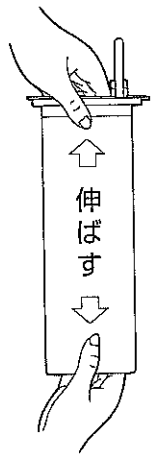
納入時はキャニスターボトルはセットされています。

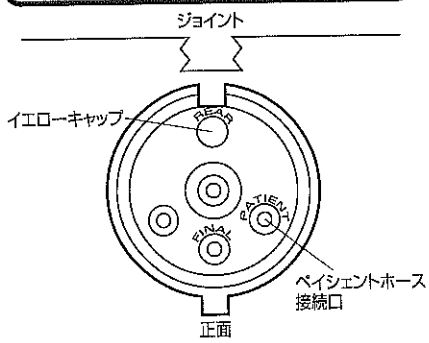


②ライナーをキャニスターボトルに差し込みます。

注意 ライナーの凸部を正面に、REAR：イエローキャップ部を真後になるようにセットしてください。

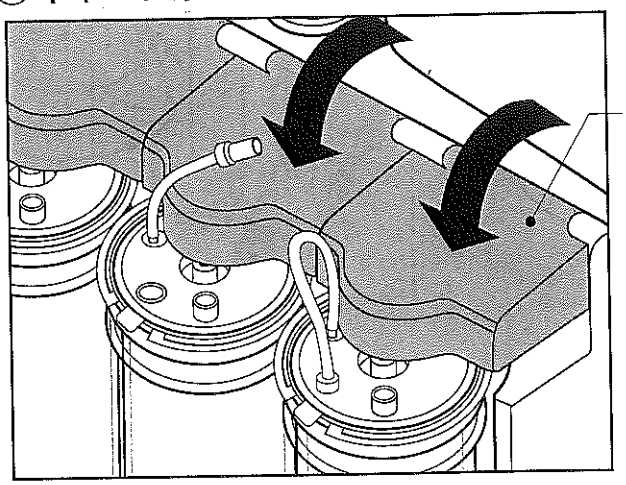






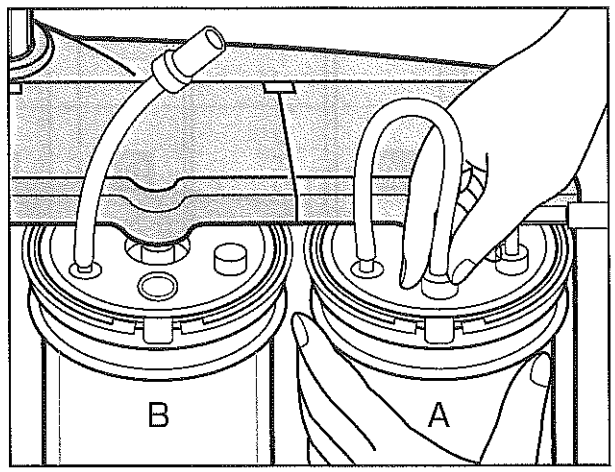
③キャニスターヘッドをとじます。

注意 キャニスターヘッドをしっかりしめてください。不完全なままですと吸引圧力の低下など吸引動作に支障がでます。

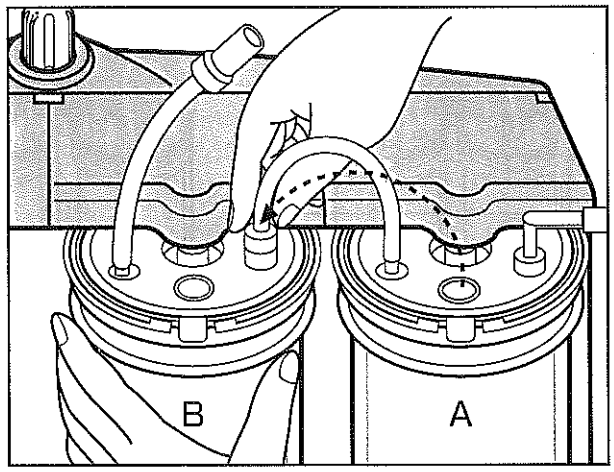


ライナーを連結する

①ライナー（A）のコネクションチューブ（黄色のコネクター）を抜き

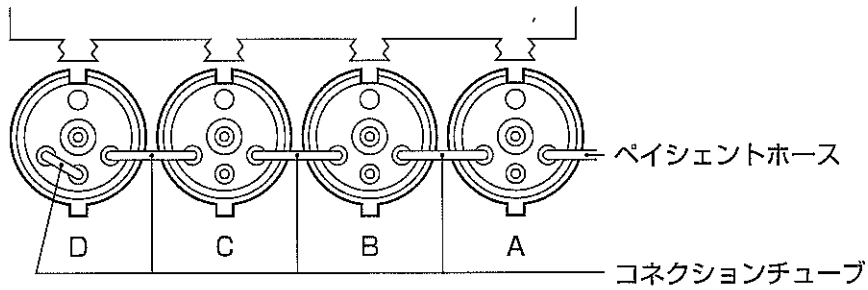


②隣のライナー（B）の吸引口に差し込みます。



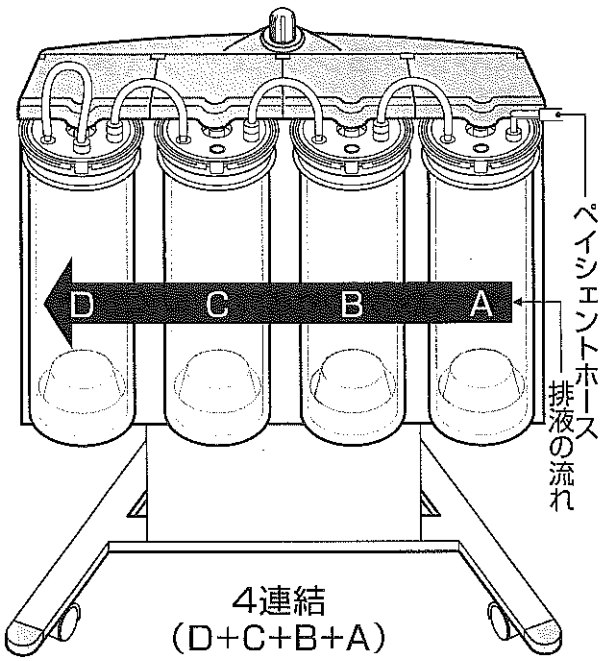
注意
コネクターの黄色い部分が見えなくなるまで、しっかり差し込んでください。
（不完全ですと吸引圧力の低下など、吸引動作に支障が出ます。）

③後は（B）から（C）、（C）から（D）と連結・接続していきます。

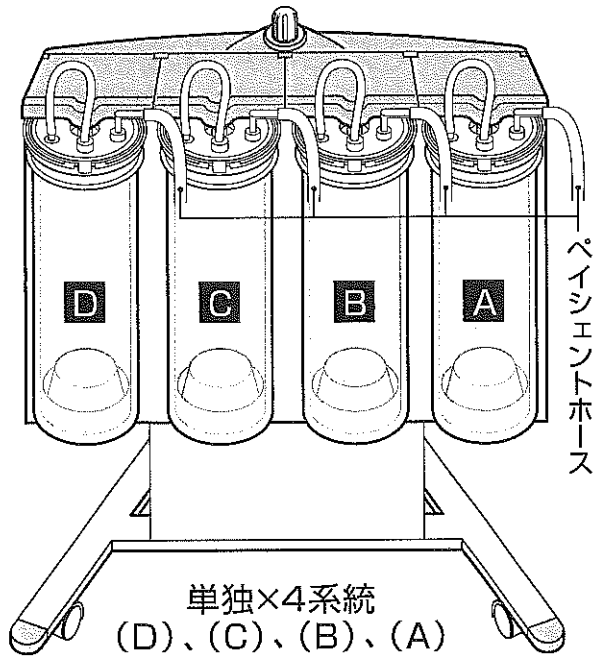


いちばん左側のライナー(D)のコネクションチューブは、外さないで差し込んだままにして、使用してください。

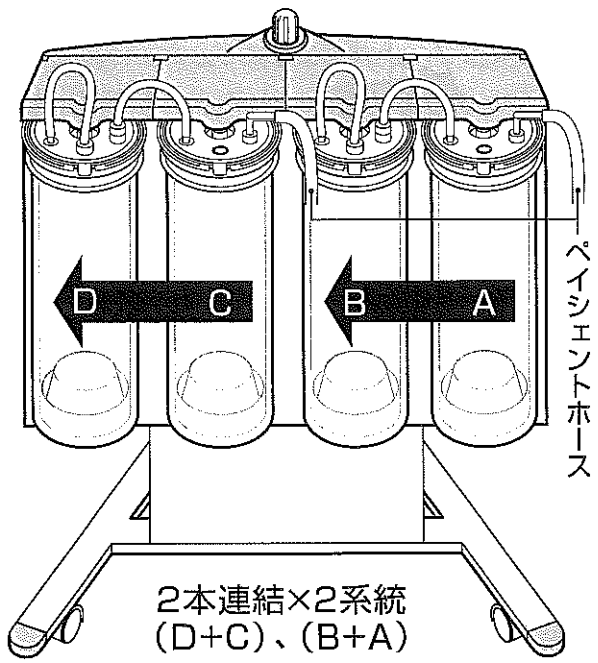
連結のいろいろ



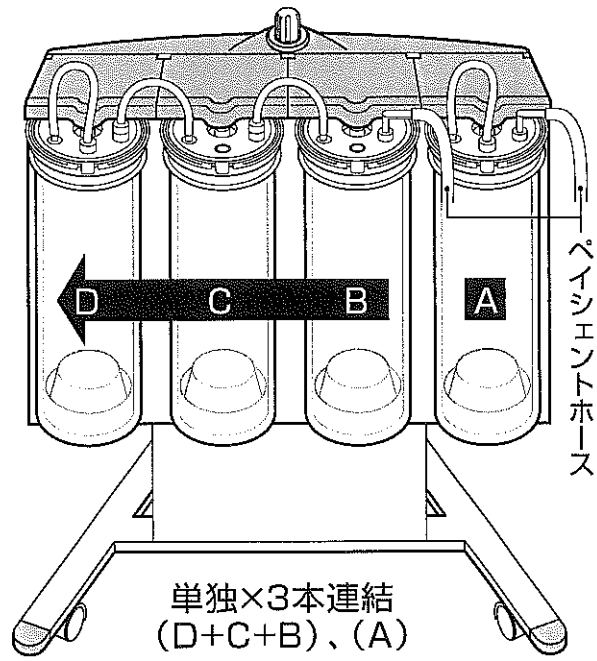
4連結
(D+C+B+A)



単独×4系統
(D)、(C)、(B)、(A)



2本連結×2系統
(D+C)、(B+A)



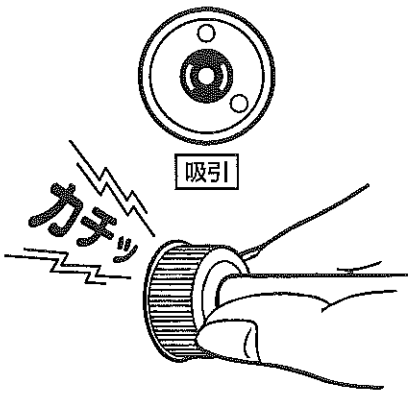
単独×3本連結
(D+C+B)、(A)

⚠注意 連結または単独使用の最後のボトルのコネクションチューブは、必ず差し込んだままにしてください。

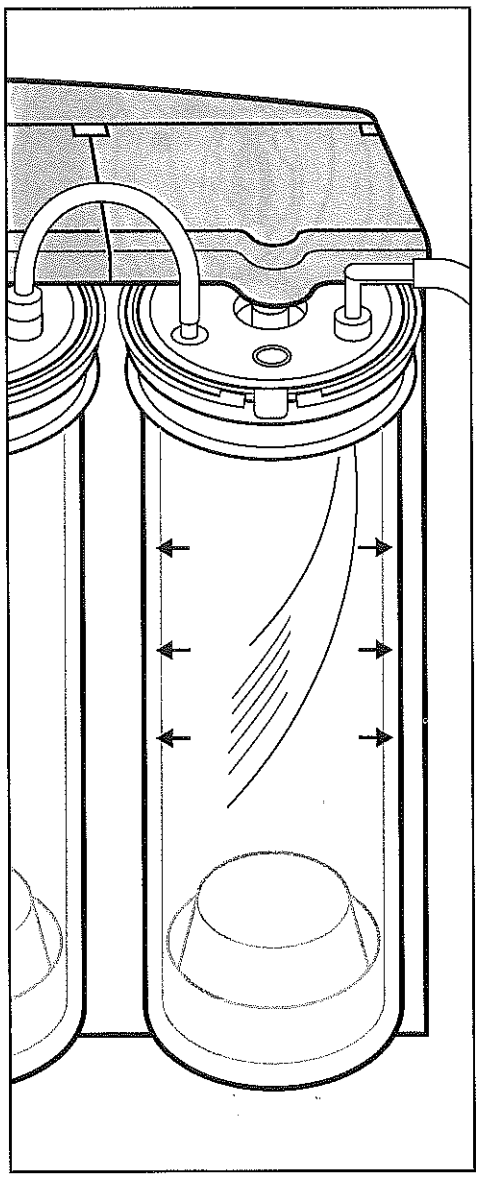
⚠注意 ペイシェントホース差しはライナーの吸引口に確実に差し込んでください。吸引圧力の低下、ペイシェントホース差しの抜けなど吸引動作の支障となります。

⚠注意 2本連結×2系統、単独+3本連結の場合、ペイシェントホースの吸引流量は4本連結の1/2になります。同様に単独×4本連結の場合、1/4となります。

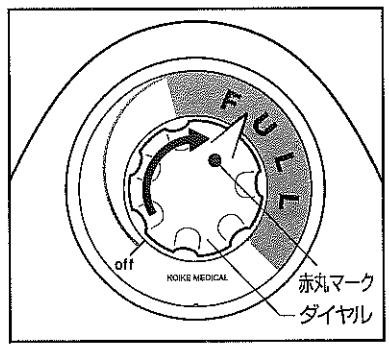
吸引を確認する



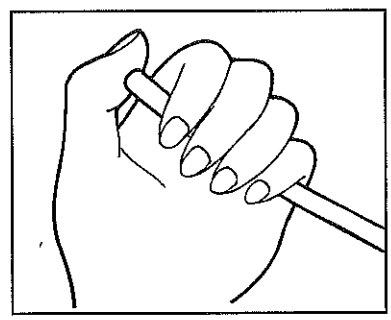
吸引前にアダプターがしっかり差し込まれているか確認してください。



❶ コントローラーのハンドル(赤丸マーク)をFULLにセットし、ライナーがキャニスターボトルに沿って膨らむことを確認します。



❷ペイシェントホースの先端を指でふさいでライナー内に吸引圧力があることを確認します。



⚠ 注意

①アダプターの形式が、アウトレット形式に合っているか確認してください。

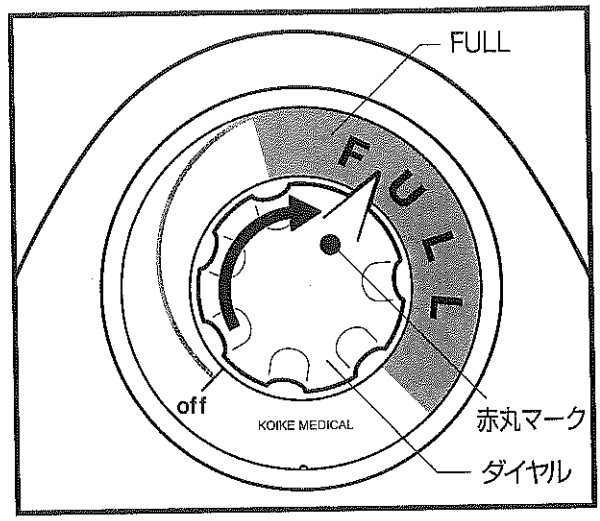
②アダプターを差し込む前に、コントローラーのハンドルの赤丸マークがOFFの位置にあることを確認してください。

③アダプターを取り付ける際には、アダプターのピン位置を合わせ「カチッ」というまで差し込んでください。確実に差し込まないと吸引できません。

⚠ 注意 ライナーがしぼんだままでしたら、ライナーのセットおよび連結、操作をやり直してください。

吸引を開始する

①コントローラーの（赤丸マーク）を、FULLに合わせて吸引をはじめてください。



吸引できます

吸引の自動停止

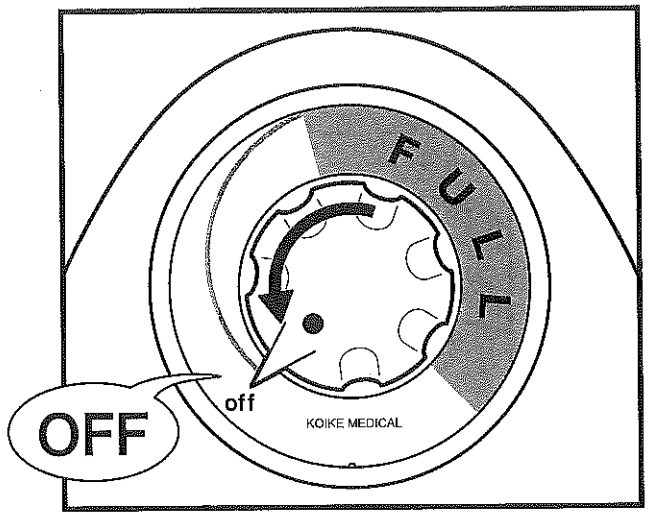
本吸引器は、

- 4連結の場合はライナー(D)
- 2連結×2系統の場合は(B)、(D)
- 単独+3連結の場合は(A)、(D)
- 単独×4系統の場合は(A)、(B)、(C)、(D)

内の排液が2,000cc近くなると、吸引圧が遮断され、自動的に吸引が停止します。

吸引を停止する

①吸引を中断、または停止する時は、コントローラーのハンドルを、OFFの位置に戻してください。



吸引が停止します

吸引の停止とライナーの廃棄処理について

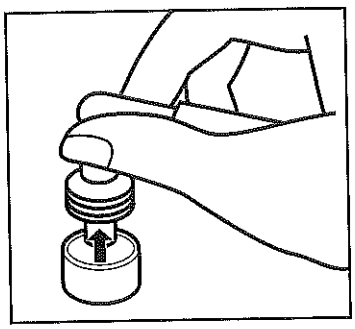
ライナーの廃棄処理を行う場合は、コントローラーのハンドルを OFF にしないで（吸引停止しない）行ってください。
ライナーの廃棄手順に従って処理してください。

ライナーの廃棄手順

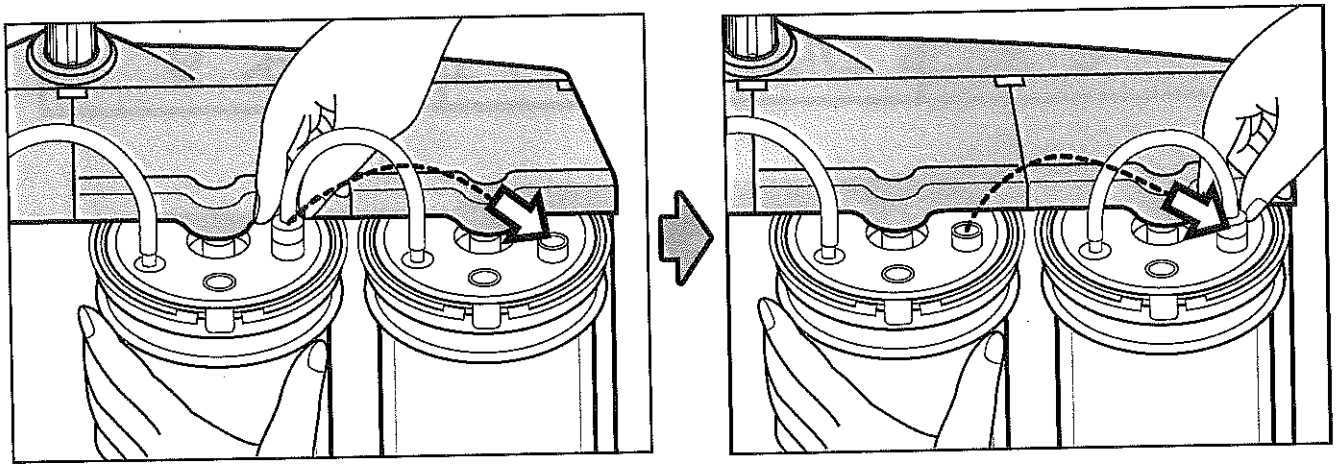
> ⚠ 注意
> コネクションチューブを繋ぎかえるまで（後入れライナーはその後、凝固剤投入を終えるまで）、キャニスターヘッドを開けたり、吸引を OFF にしないでください。
> ライナーが縮み、廃液が漏れたり、暴露する可能性があります。

❶ ペイシェントホースを外してください。

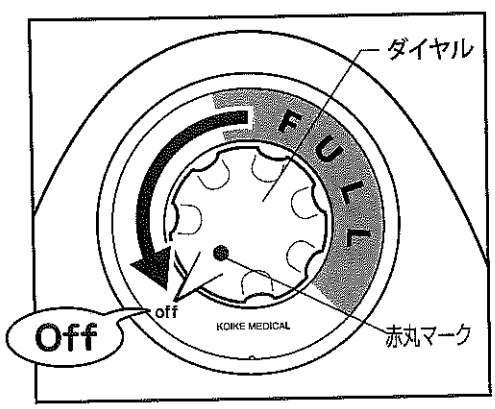
> ペイシェントホース差しの先端より液状廃棄物が飛散しないように外して、ポリ袋等に収納し処理してください。



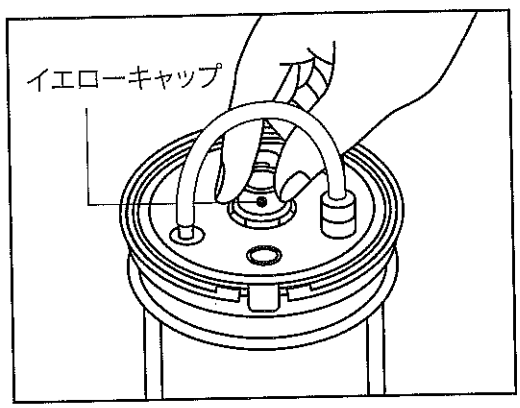
❷すべてのライナーのコネクションチューブをPATIENT: ペイシェントホース接続口に差し換えてください。



❸コントローラー のハンドルを OFFの 位置にし、吸引を停止してください。



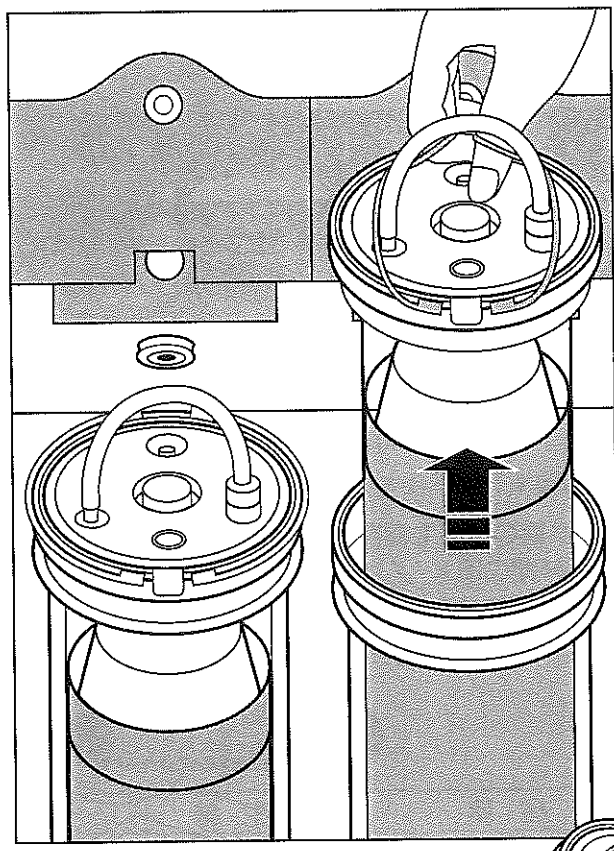
❹ライナーの吸引口をイエローキャップでふさいでください。



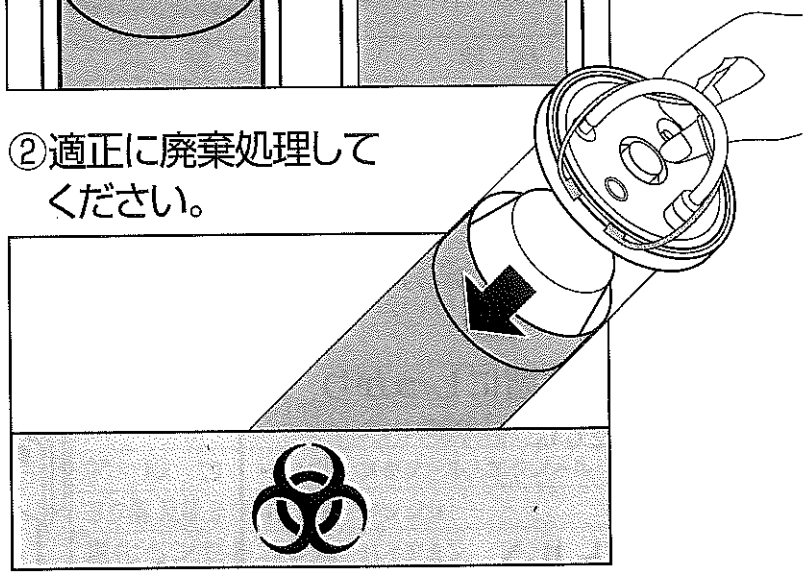
ライナーの廃棄処理

一般廃棄物と決して一緒にしないでください

①ライナーの吊り手を持って、キャニスターボトルから引き出してください。



②適正に廃棄処理してください。



> ⚠ 注意　使用済のライナー、または吸引器に使われている部品等を廃棄する場合は、適合する法規に従って処理してください。

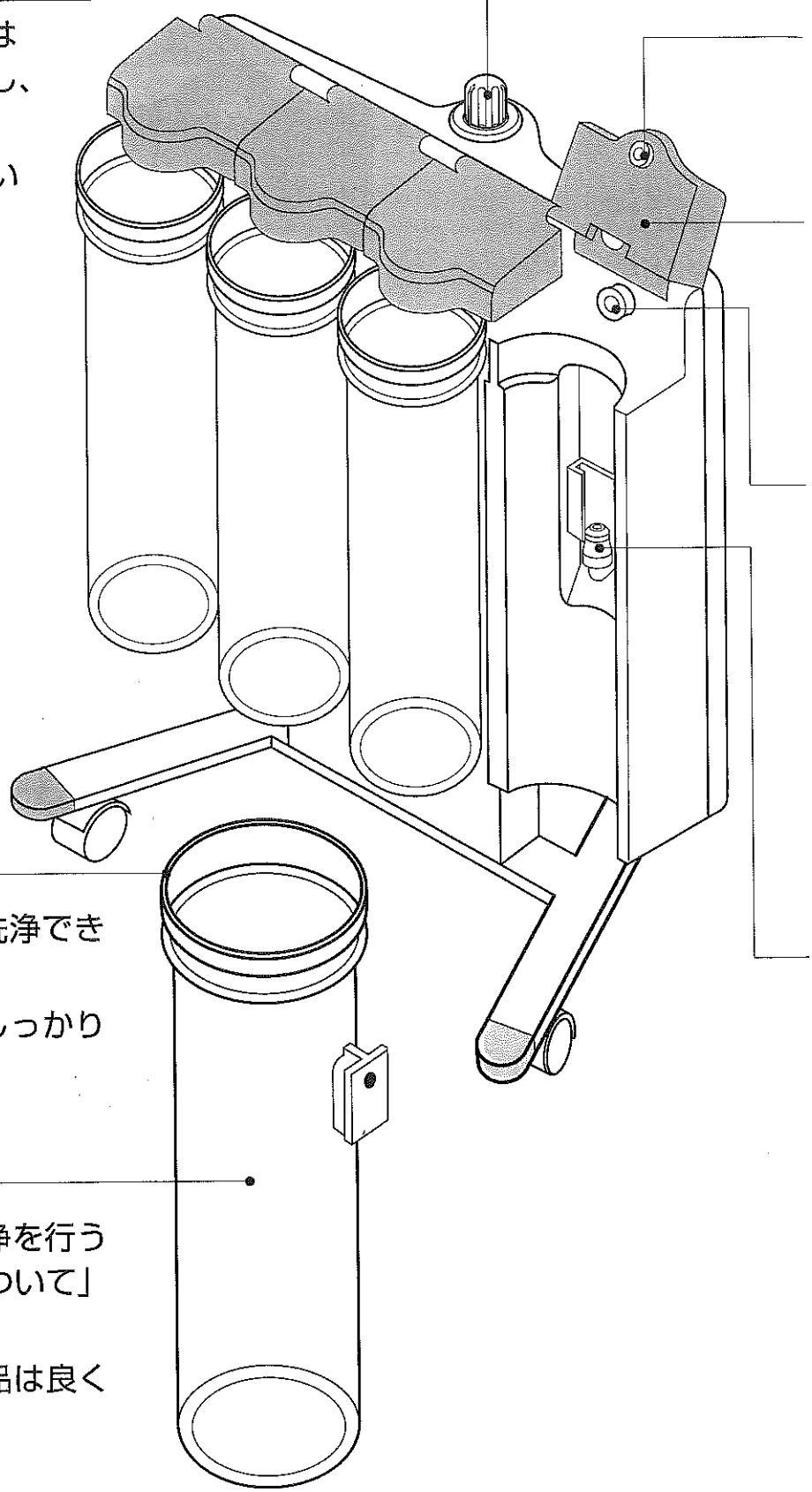
お手入れのしかた

コントローラー、キャニスターまわりの洗浄とお手入れ

コントローラーの洗浄と消毒

■ウェットティッシュまたはやわらかい布に薬剤を浸し、表面を拭いてください。

■消毒および洗浄は行わないでください。



〈ボトルパッキン〉

■ボトルパッキンは外して洗浄できます。

■洗浄後は、正しい位置にしっかりセットしてください。

〈キャニスターボトル〉

■薬剤による消毒または洗浄を行う場合は、P.17の「消毒について」に従ってください。

■洗浄および消毒後、各部品は良く乾燥させてください。

消毒について

洗浄、消毒方法の注意事項に従ってください

キャニスターまわりの洗浄と消毒

―〈ライナージョイント〉



■外せます。

―〈キャニスターヘッド〉

■外さないで、そのままで洗浄してから、拭いてください。

―〈ジョイント(A)〉



■ジョイントは外してから洗浄又は、消毒を行ってください。

■製品の良否を確認し、不良品は新品に取り換えてください。

―〈ボトルジョイント〉



■ボトルジョイントは取り外してから洗浄又は、消毒を行ってください。

■ジョイントの良否を確認し、不良品は新品に取り換えてください。

洗浄および消毒方法の注意事項

⚠注意 洗浄および消毒方法、また薬剤の種類により、プラスチック製品部が侵され、亀裂、または破損の原因となることがあります。

❶ 薬剤の取扱いについては、薬剤に付属されている「取扱説明書」をよくお読みください。

❷ 当製品の使用後は必ず洗浄および消毒を実施してください。

❸ 当製品を洗浄または消毒する際の薬剤は、下表の「耐薬品性」を参考に選定してください。×印の薬剤は使用しないでください。○印の薬剤でも使用方法によりプラスチック製品部が侵され、亀裂が発生することがあります。

耐薬品性

一般名	商品名	キャニスター
グルコン酸クロルヘキシジン	ヒビテン・グルコネート(但し、アルコール希釈不可)	○
	ヒビテン(但し、アルコール希釈不可)	○
	ヒビスクラブ(但し、アルコール希釈不可)	○
	マスキン液(但し、アルコール希釈不可)	○
塩化ベンザルコニウム	オスバン・ヂアミトール	○
グルタラール	ステリハイド・サイデックス	○
クレゾール		×
塩酸アルキルジアミノエチルグリシン	テゴ51	×
	アノン300	×
アルコール	メタノール・エタノール	×
ヨウ素及びヨウ素化合物	イソジン	○
塩化ベンゼトニウム	ハイアミン	○
次亜塩素酸ナトリウム	ハイター	×
	ピューラックス・ミルトン・テキサント	×
植物系油	サラダ油・オリーブ油	×
鉱物系油		×

(注) ○：使用可　×：使用不可

❹上表の他に、新しい薬剤や濃度もさまざまな状態の薬剤の登場が予想されます。使用する場合には最寄りの弊社営業所、または販売店、もしくは消毒メーカーにお問合せください。

日ごろの点検

〈点検表〉

〈点検項目と点検方法および不具合時の対処〉

点検項目	点検箇所	点検方法	不具合時の対処
吸引性能	キャニスターにセットしたライナー（ふくらみの状態を見る）	P-11の『吸引を確認する』を参照する。	吸引できない時は、P-21『故障かしら』の表により対処する。
構成品の外観	①キャニスタースタンド	構成品に変形、変色、劣化、亀裂等と損傷がないか目視で確認する。	新品に交換、または原因を取り除く。
	②キャニスターボトル		
	③キャニスターヘッド		
	④コントローラー		
	⑤ホース類		
操作性	①コントローラーのハンドル	ハンドルを廻して、作動がスムーズか確認する。	⚠ 注意 異常がみとめられた場合は使用を中止し、当社または当社販売サービス店に連絡する。
シール材の変形（キャニスターパッキン ジョイント）	①ボトルパッキン	構成部品の取り付け状態は正常か、また変形、変色、劣化、および亀裂等の損傷がないか、目視で確認する。	取り付けなおしまたは新品に交換する。
	②キャニスターヘッドに組み付けられている、ジョイント類		
	③キャニスタースタンドに組み付けられている、ジョイント類		
清潔性	①キャニスターボトル・キャニスターヘッド・キャニスタースタンド	油脂類の付着、水あか、塗装のはがれ、および汚れ等がない事を目視で確認する。	P-17の『キャニスターまわりの洗浄と消毒』により対処する。
	②コントローラー		P-16の『コントローラーの洗浄と消毒』により対処する。

日ごろの点検〈日常点検表〉

点検記録は1年以上保存してください。

点検項目	点検箇所	点検日時・点検者								
1.吸引性能	コントローラー、キャニスターの吸引確認									
2.気密	キャニスター及び各ホース接続部の漏れ									
3.構成品の外観	①キャニスタースタンドの亀裂、損傷、変色の確認									
	②キャニスターホルダー亀裂、損傷、変色の確認									
	③コントローラーの亀裂、損傷の確認									
	④ホース・チューブ類の亀裂、損傷の確認									
	⑤キャニスターボトルの亀裂、損傷、変色の確認									
4.構成品の接続	確実にセットできることの確認									
5.操作性	①コントローラーのハンドルの回転									
	②キャニスターヘッドの作動									
6.シール材の変形（キャニスターパッキン ジョイント ペイシェントホース）	①キャニスターボトルのパッキン取り付け状態、変形、劣化、亀裂等の損傷の確認									
	②キャニスターヘッドのライナージョイント取り付け状態、変形、劣化、亀裂等の損傷の確認									
	③キャニスタースタンドのジョイント（A）ボトルジョイント取り付け状態、変形、劣化、亀裂等の損傷の確認									
7.清潔性	①キャニスターボトル・キャニスターヘッド・キャニスタースタンドの清潔性の確認および洗浄、消毒状態の確認									
	②コントローラー外観の清潔性の確認									

レ－点検　○－分解　×－交換　△－修理　A－調整　T－締付　C－清掃、洗浄　S－滅菌消毒

日ごろの点検〈定期点検表〉 点検記録は1年以上保存してください。

点検項目	点検箇所	点検方法	点検	備考
1.吸引性能	コントローラー、キャニスターの吸引の確認	P-11の『吸引を確認する』により対処する。		
2.気　密	キャニスター及び各ホース接続部	コントローラーの目盛を最大にしてキャニスターボトルのペイシェントホースの先端をふさぎ吸引を開始し、各接合部およびホース接続部の漏れの有無を確認する。漏れがある場合は「シュー」と音がするので、音のする部分にブラシまたは筆で石鹸水を塗布すると石鹸水が吸い込まれる。		
3.構成品の外観	①キャニスタースタンド	変形、変色、劣化、亀裂等の損傷がないか、目視で確認する。		
	②キャニスターホルダー			
	③コントローラー			
	④ホース・チューブ類			
	⑤キャニスターボトル			
4.構成品の接続	確実にセットできることの確認	各部品を操作し、セットの状況をみる。		
5.操作性	①コントローラーのハンドル	ハンドルを回転させ、作動がスムーズか確認する。		
	②キャニスターヘッド	キャニスターヘッドを開閉し、作動がスムーズに行えるか確認する。		
6.シール材の変形（キャニスターパッキン ジョイント ペイシェントホース）	①ボトルパッキン	ジョイント類の取り付け状態は正常か、変形、変色、劣化、亀裂等の損傷がないか、目視で確認する。		
	②ライナージョイント			
	③ジョイント(A)、ボトルジョイント			

レ－点検　○－分解　×－交換　△－修理　A－調整
T－締付　C－清掃、洗浄　S－滅菌消毒

点検日	
担当者	

故障かしら？

吸引が出来ない

原　因	点検箇所	処　置
アダプターが正常に接続されていない	アダプター及びアウトレット	●アダプターがアウトレットに合っているか調べる。 ●アウトレットにアダプターを差し込み直す。
ライナージョイントの不具合	キャニスターヘッド	新品と交換する。
ジョイント（A）の不具合	キャニスター	新品と交換する。
ライナーのセット不具合	キャニスター	ライナーを引き出し再度セットする。
ボトルパッキンの不良	キャニスターボトル	新品と交換する。
ボトルジョイントの不具合	キャニスター	新品と交換する。
コントローラーの圧力不足	コントローラー	調整が出来ないものは新品に換える。
ホースの折れ	ペイシェントホース及びアダプターホース	折れの原因を無くすか、ホースを交換する。

吸引が弱い

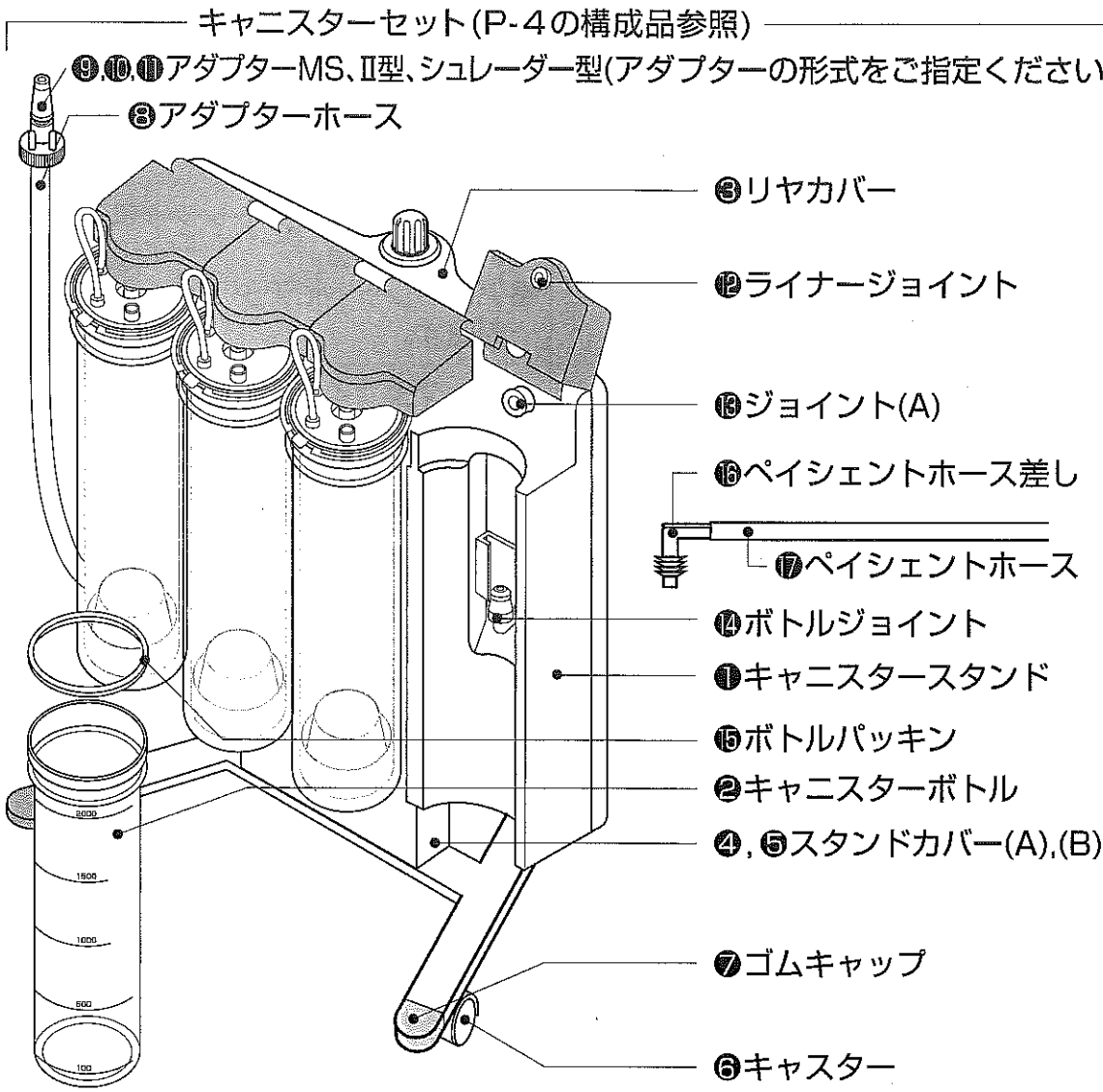
原　因	点検箇所	処　置
ライナージョイントの不具合	キャニスターヘッド	新品と交換する。
ジョイント（A）の不具合	キャニスター	新品と交換する。
ライナーのセット不具合	キャニスター	ライナーを引き出し再度セットする。
ボトルパッキンの不良	キャニスターボトル	新品と交換する。
ボトルジョイントの不具合	キャニスター	新品と交換する。
コントローラーの圧力不足	コントローラー	調整が出来ないものは新品に換える。
ホースの折れ	ペイシェントホース及びアダプターホース	折れの原因を無くすか、ホースを交換する。

吸引圧力の調整が出来ない

原　因	点検箇所	処　置
コントローラーの不具合	コントローラー	●不具合品は新品に換える。 ●修理は当社又は当社販売サービス店にご連絡下さい。

消耗部品と注文方法

不完全な修理、部品の交換はしないでください



構成部品リスト

NO.	部品名称	コードNO.	数量	備　考
1	キャニスタースタンド	359011	1	キャニスターボトル無し
2	キャニスターボトル(2000cc)	359053	1	
	キャニスターボトル(3000cc)	359054	1	
3	リヤカバー(2連)	359013	1	
	リヤカバー(4連)	359017	1	
4	スタンドカバー(A)	359014	各1	セット
5	スタンドカバー(B)	359015		
6	キャスターセット(BR付)	359016	2	ブレーキ付
	(BR無)		2	ブレーキ無し
7	ゴムキャップ	359018	1	

NO.	部品名称	コードNO.	数量	備　考
8	アダプターホース	322022	1	
9	アダプターMS	340004	1	ピンインデックス型
10	アダプターⅡ型	340009	1	
11	アダプターシュレーダー型	340013	1	Ⅲ型、アムコ型
12	ライナージョイント	359019	4	
13	ジョイント(A)	359020	4	
14	ボトルジョイント	359025	4	
15	ボトルパッキン	359026	4	
16	ペイシェントホース差し	359122	10	
17	ペイシェントホース	322023	1	

〈保証期間〉

当製品(消耗品を除く)の保証期間はお求めの日から1年です。

Memo

お　願　い

この説明書に記載された、点検方法及び処置で対処できない問題が生じた時には、
ただちに緊急連絡先へご連絡ください。
また、ご自身で修理を試みることは絶対におやめください。
電話番号は下記の通りです。

緊急連絡先

発売元

KOIKE MEDICAL 株式会社 小池メディカル　http://www.koike-medical.co.jp/ お問い合わせは、お近くの小池メディカル営業所まで

本　　社	〒132-0031	東京都江戸川区松島1-24-8	TEL.03(5662)6605 FAX.03(5662)6606
札幌営業所	〒062-0052	札幌市豊平区月寒東二条4-10-1	TEL.011(857)4071 FAX.011(857)4077
仙台営業所	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町7-4-45	TEL.022(388)8901 FAX.022(388)8930
盛岡営業所	〒020-0831	盛岡市三本柳12地割4-1藤万ビル1-2	TEL.019(605)6571 FAX.019(605)6572
新潟営業所	〒950-0853	新潟市東区東明4-5-4	TEL.025(257)7121 FAX.025(257)7123
郡山センター	〒963-0101	郡山市安積町日出山4-180-2	TEL.024(944)7227 FAX.024(944)7233
ふくしま営業所	〒970-1153	いわき市好間町上好間字岸12-4	TEL.0246(36)5311 FAX.0246(36)5323
茨城営業所	〒308-0847	筑西市玉戸1049-2 サンプラザ1	TEL.0296(20)2033 FAX.0296(20)2055
埼玉営業所	〒337-0051	さいたま市見沼区東大宮5-34-2 山田ビル 2F	TEL.048(684)2051 FAX.048(684)1588
東京・千葉営業所	〒124-0022	東京都葛飾区奥戸6-1-10	TEL.03(3696)7101 FAX.03(3696)7103
横浜営業所	〒224-0032	横浜市都筑区茅ヶ崎東4-6-1 B102	TEL.045(949)5305 FAX.045(944)0925
静岡営業所	〒424-0806	静岡市清水区辻3-6-17	TEL.054(371)6170 FAX.054(371)6171
富山営業所	〒931-8326	富山市上野新町7-43	TEL.076(438)2055 FAX.076(438)3603
高山営業所	〒506-0051	高山市中山町543-1	TEL.0577(36)3050 FAX.0577(36)2967
名古屋営業所	〒453-0865	名古屋市中村区川前町524	TEL.052(413)5224 FAX.052(413)5218
大阪営業所	〒536-0007	大阪市城東区成育2-7-2 岡組ビル 2F	TEL.06(6932)1931 FAX.06(6932)8823
堺営業所	〒599-8112	堺市東区日置荘原寺町415-1	TEL.072(288)2010 FAX.072(288)2011
和歌山営業所	〒640-8412	和歌山市狐島613-80	TEL.073(480)3596 FAX.073(480)3597
広島営業所	〒733-0024	広島市西区福島町2-33-6	TEL.082(294)0830 FAX.082(294)0987
福岡営業所	〒812-0863	福岡市博多区金の隈2-17-43 a棟102号	TEL.092(513)3101 FAX.092(513)3661
南九州営業所	〒890-0055	鹿児島市上荒田10-21	TEL.099(284)0545 FAX.099(284)0546
沖縄営業所	〒910-0152	那覇市字小禄65	TEL.098(859)8077 FAX.098(857)5244
在宅医療サービスセンター茨城	〒300-0874	土浦市荒川沖西2-11-1	TEL.0298(34)2035 FAX.0298(34)2036
在宅医療サービスセンター熊本	〒860-0082	熊本市池田4-32-44	TEL.096(319)2201 FAX.096(319)2205

製造販売元　株式会社 群馬コイケ 〒372-0855 群馬県伊勢崎市長沼町222-1

11101000GK